

中国経済は3月に入り本格始動

ポイント① 1-3月期の実質GDPは加速

中国国家統計局が18日に発表した、中国の2023年1-3月期の実質GDP成長率は前年同期比+4.5%となり2022年10-12月期から加速、市場予想の同+4.0%も上回りました。3月に開催された全国人民代表大会（全人代）で、政府は2023年の実質GDP成長率の目標を「+5%前後」と掲げています。昨年は目標未達となったために、今年は保守的な目標になったと見られ、今後の成長ペース加速が期待されます。

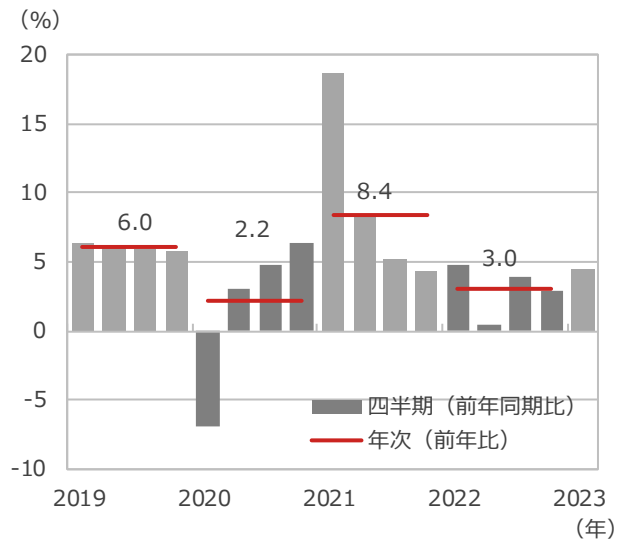
ポイント② 経済再開後、本格始動となった3月

同日発表の3月の中国主要経済指標は、ゼロコロナ政策終了直後の1-2月よりも加速し、本格始動が確認されました。旧正月明けに経済活動が速やかに再開され、人々の流れが戻ったことがあります。鉱工業生産指数は前年同月比+3.9%、小売売上高は通信機器が低調な半面、コロナ禍に打撃を受けた外食などが増加し、同+10.6%となりました。また、13日発表の貿易統計は、輸出が前年同月比+14.8%となり、市場予想の同▲7.1%に反して6か月ぶりにプラスに転じました。電気自動車や太陽電池などの需要に加えて供給網が改善、最大輸出相手先であるASEAN向けが大幅に伸びました。

ポイント③ リベンジ消費と企業活動が鍵

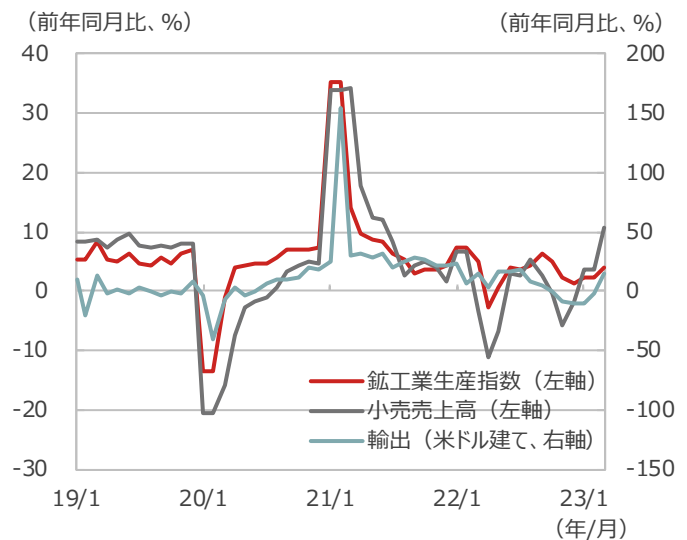
欧米の景気減速で外需の下押し懸念が強まる中、ゼロコロナ政策終了によるリベンジ消費や供給網改善により、電気自動車など一部の企業活動に回復の兆しが見えます。また、住宅の工事中断問題が政府の支援により多少の進展が見られ、低迷していた不動産市場に底打ち感が見られます。2023年の中国経済が目標を超過するためにはこのような流れが続くか否かが鍵を握ります。

中国の実質GDP（国内総生産）成長率



期間：四半期 2019年1-3月期～2023年1-3月期、四半期
年次 2019年～2022年、年次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

中国の鉱工業生産指数、小売売上高、輸出



期間：2019年1月～2023年3月、月次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

**重要
イベント**

- 4月30日 中国製造業/非製造業PMI (購買担当者景気指数、4月)
- 5月9日 中国貿易収支 (4月)